

秋田県“角館の桜まつり”における渋滞対策について ～マネジメントサイクルの実践～

東北地方整備局 秋田河川国道事務所 角館国道維持出張所
木村 孝 佐藤 康弘

1、はじめに

角館町は、秋田県東部中央に位置する人口約1万5千人程の町であるが、幕藩時代からの武家屋敷が今なお残る歴史の香り漂う町である。そのため年間240万人もの観光客が訪れる東北屈指の観光地となっている。特に桜の季節には、「武家屋敷の枝垂れ桜」「桧木内川堤の染井吉野」を見物するため沢山の観光客が訪れる。

平成15年「角館の桜まつり」では、過去最高の観光客133万4千人を記録し、町内は休日を中心に大変混雑した。そのため、国道46号・国道105号と言った町内を通る道路は、大渋滞を引き起こし、観光客ばかりでなく、地域生活全般に大きな影響を与えることとなった。

そこで、昨年11月から角館町を中心とする祭りの主催者に道路管理者と警察が加わり”角館観光期渋滞対策検討会”(メンバ-は、国土交通省角館国道維持出張所・秋田県仙北地域振興局・角館町・道路公団秋田管理事務所・角館警察署・角館町観光協会/以降検討会と呼ぶ。)を組織し、幹線道路の渋滞緩和に取り組んできたところである。

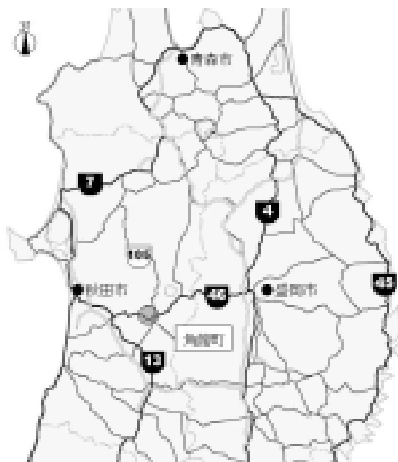


図 - 1 位置図

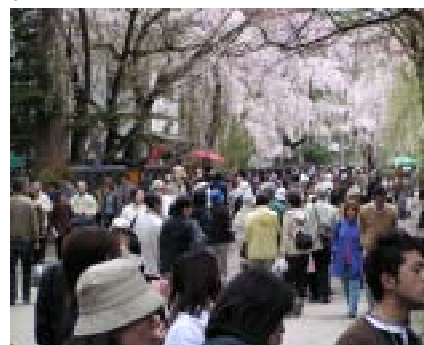


写真 - 1 角館の桜まつり



写真 - 2 角館市街地全景



写真 - 3 検討会開催状況

2、渋滞対策の進め方

検討会は、立案（PLAN）～施策の実行（DO）～施策の効果測定・評価（SEE）といった行政マネジメントサイクルの考え方を取り入れて、進めることとした。具体的には、既存データの整理・問題点の抽出～検討方針・スケジュールの確認～現地調査・施策検討～施策の実行・調査～調査結果の整理・解析～施策の評価～《次回に向けての取り組み検討》といった流れで進めた。

短期施策目標（平成16年に向けて）を観光期（桜まつり・ゴールデンウィーク・夏休み・紅葉シーズン）の国道46号通過車両1台当たりの渋滞損失時間をソフト的施策で2割削減させることとした。また、中期施策目標（概ね5年後に向けて）については、ハード的施策で角館町民1人当たりの渋滞損失時間を3割削減させることとした。

なお、計画については、平成15年度秋田のみちのサービス目標計画書（アウトカム・プラン）の観光渋滞緩和に向けた取り組み（角館地区）として公表している。



写真 - 4
平成15年度秋田のみちの
サービス目標計画書(業績計画書)

3、渋滞原因と対策

既存資料に基づく平成15年「角館の桜まつり」における国道46号の渋滞状況は、最大渋滞長4.2km、最大通過時間50分であった。

検討会において、幹線道路の交通容量不足、駐車場の不足、大型観光バスによる交通阻害（駐車場への出入り、駐車場待ち、観光客の乗降）が渋滞の主な原因という認識で一致した。

渋滞緩和に向けた短期施策として、駐車場容量の拡大（角館バイパス用地・桧木内河川敷などの活用で倍増）

計画的な交通誘導（大型観光バス専用駐車場・乗降場所の設置、進入方向別で利用駐車場の固定）交通・駐車場の情報提供の充実（道路情報板等道路施設の活用、ホームページ・携帯サイトの充実・活用、案内看板の充実、リフレットの充実・配布）を計画・実施した。

また、中期施策として平成19年供用を目標に現在整備を進めている角館バイパスの整備を位置づけた。



写真 - 5 ホームページ
(交通・駐車場の情報提供)

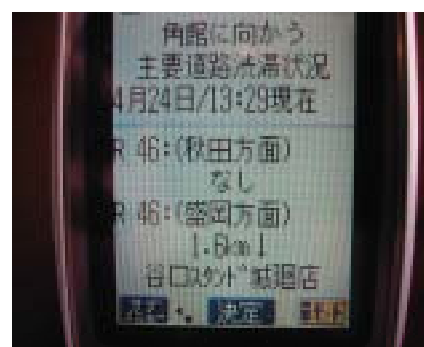
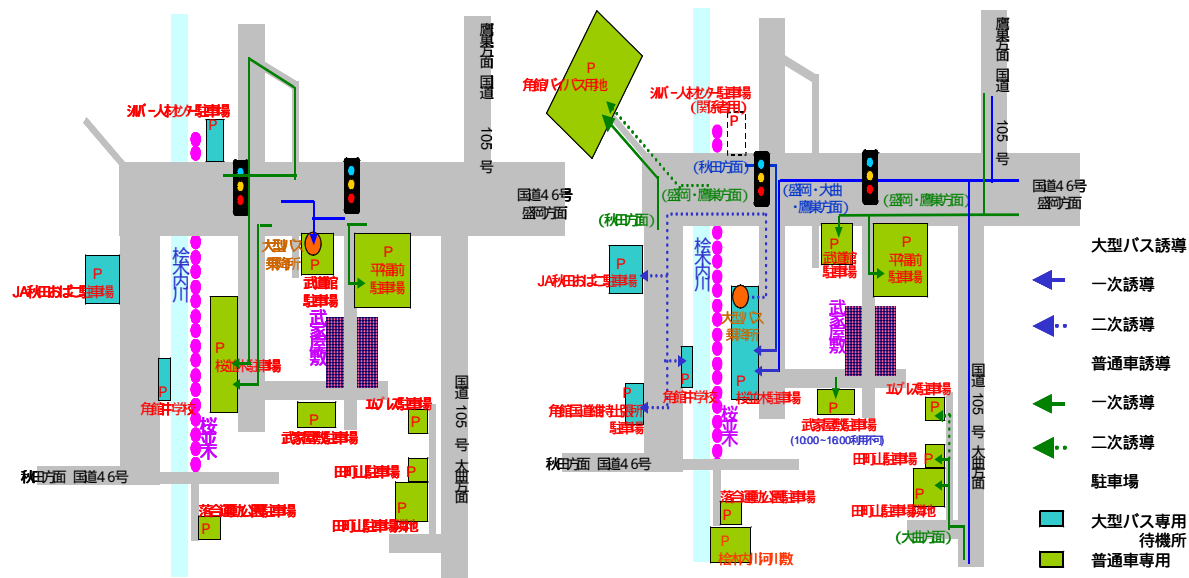


写真 - 6 携帯電話サイト
(交通・駐車場の情報提供)



平成15年
(大型バス88台、普通車1,365台)

平成16年(H15比:9割UP)
(大型バス110台、普通車2,625台)

図-2 渋滞緩和に向けた短期施策

4、施策効果の検証

平成16年「角館の桜まつり」は、4月17日～5月5日の19日間、133万1千人の観光客を集め、大変な賑わいをみせた。特に、満開の4月25日(日)には、20万人もの観光客が訪れ、角館町は大変な人出となった。

施策効果については、観光期の国道46号通過車両1台当たりの渋滞損失時間36分27分と短期施策目標である2割減を達成する結果(25%減少)となった。

国道46号の最大渋滞長・最大通過時間については、盛岡方向で4,200m(50分)2,600m(35分)と言う効果が確認された。しかし、一時的ではあるが、秋田方向で3,200m(30分)3,500m(43分)と渋滞の増長も確認された。これは、専用駐車場から乗降場所へ移動する大型観光バスが、ある時間帯に集中してしまったことに起因するものと考えられ、今後の検討課題となっている。



写真-7 昨年度渋滞状況
(国道46号表町交差点付近)



写真-8 今年度渋滞状況
(国道46号表町交差点付近)

国道105号においては、1,000m(40分)と言う渋滞が見られた。(平成15年はデ-タ無し)これは、交差する国道46号の渋滞の影響によるもので、中期施策としている国道46号角館バイパスの整備で緩和するものと考えられる。

町へ寄せられた苦情件数が147件 5件と激減、アンケート調査結果でも約9割が満足・やや満足となっており、観光客には概ね好評であったと思われる。

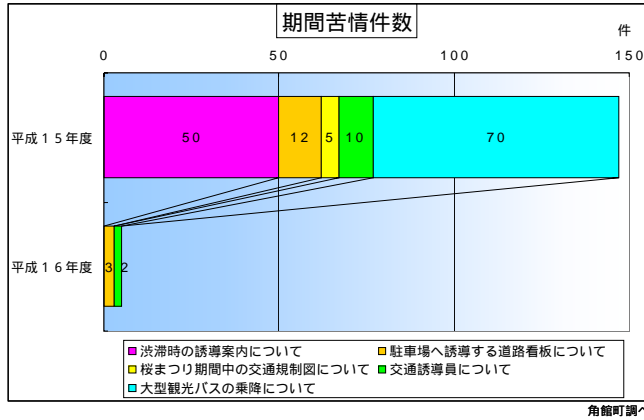


図 - 3 桜まつり期間中苦情件数

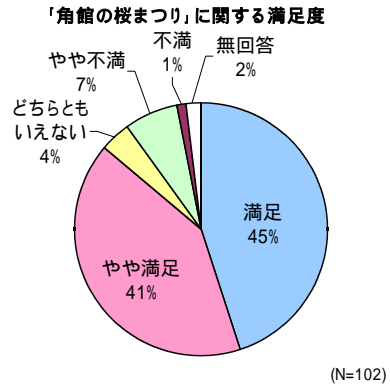


図 - 4 アンケート結果 (角館の桜まつりに関する満足度)

角館の桜祭り 苦情激減

武家屋敷のシダレザクラや松本内川土平のソメイヨシノで有名な角館町で6月8日まで桜祭りが開かれている。写真。交通規制の解除に、今年は駐車場を整理し、観光バスと自家用車の駐車場を区別。誘導員も増員した。祭りが始まり最初の週末だった17、18日には観光バス関係者から苦情が4件出た。効果が見られたようだ。

町商工観光課によると、角館町の桜祭りには100万人以上の観光客が訪れる。例年、大型観光バスは町家屋敷近くの駐車場に観光客を降ろしていたが、待機場所が狭いため、近頃は別の場所になっていた。

このため祭り期間中、「観光客が苦子になった」という苦情が同課に1日

駐車場増など、渋滞対策が効果

平均20件ほど寄せられていた。また、国道46号や105号では、駐車場を確保す自家用車の渋滞が起き、車を降りられず帰ったという苦情もあったという。

そこで今年は、町町や町観光協会などで、前年の約2割に当たる約200台分の駐車場を確保。松本内川土平の駐車場を観光バス専用の乗降口にした。

一方、自家用車の駐車場の多くは国道沿いにあり、花見ができる場所まで最大で約20分歩かなくてはならない。同課は誘導員を前年の約4倍配置した。「多くの人が満足できるように、誘導員の配置に注いで欲しい」と呼びかけている。

関連新聞記事

角館の桜まつり 総決算

渋滞緩和策が奏功 流動客を引き留める

「角館の桜まつり」は、今年も大盛況で幕を閉じた。観光客の満足度は、前年を上回ったという。町商工観光課によると、今年も約100万人以上の観光客が訪れた。例年、大型観光バスは町家屋敷近くの駐車場に観光客を降ろしていたが、待機場所が狭いため、近頃は別の場所になっていた。

このため祭り期間中、「観光客が苦子になった」という苦情が同課に1日平均20件ほど寄せられていた。また、国道46号や105号では、駐車場を確保す自家用車の渋滞が起き、車を降りられず帰ったという苦情もあったという。

そこで今年は、町町や町観光協会などで、前年の約2割に当たる約200台分の駐車場を確保。松本内川土平の駐車場を観光バス専用の乗降口にした。

一方、自家用車の駐車場の多くは国道沿いにあり、花見ができる場所まで最大で約20分歩かなくてはならない。同課は誘導員を前年の約4倍配置した。「多くの人が満足できるように、誘導員の配置に注いで欲しい」と呼びかけている。

5、おわりに

今回の取り組みのポイントは、関係機関が連携してソフト的施策に取り組んだことと行政マネ-ジメントサイクルを実践したところにある。あまりコストを掛けずに満足できる成果を上げられ、一般の方々に目標・施策・効果を目に見える形で示せたことは、大変有意義な取り組みであったと言って良いであろう。

大型観光バスの乗降場所の機能的な運営、携帯サイトなど情報提供のPRと内容の充実と言った課題については、引き続き本検討会で取り組んでいくこととしている。